



緊張と不安、そして、大きな期待を胸にスタート

東庄小学校へようこそ！

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月2日から春休みを挟み、ゴールデンウィークまで臨時休業となった町内の学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。

町内の5つの小学校が閉校し、新たに誕生した東庄小学校では、緊張した面持ちながらも、先生の話を聞いたり、勉強したりする場面が見られました。

久しぶりの学校に笑顔

5月11日(月)から学校の分散登校が始まりました。

小学校では、保護者が登校を見守り、先生たちが校門やバス乗降場所で児童を出迎えると、元気なあいさつが響き渡りました。児童や先生方はマスクをつけ、密にならないよう気を配りながら、体育館の入り口で健康観察と、検温を実施。その後、児童は手指の消毒も行い、用意されたイスへ着席しました。

体育館で全体の朝の会が始まると、児童は引き締まった表情で、感染症の予防や休業期間のこと、学校について、先生の話を聞きました。その後、3クラスを9班に分け、児童を9教室に分散させて指導しました。

教室では、前回の課題の回収や1週間分の課題配布と説

明、自宅での過ごし方の確認、簡単な自己紹介などを行いました。先生の話に顔がほころぶ場面も見られ、学び舎に少し日常が戻った瞬間でした。クラスで30分ほど過ぎると、すぐに身支度を始め帰りの会へ。来週も元気に登校する約束をして、下校しました。

児童に感想を聞くと「久しぶりに友だちに会えてうれしかった」「緊張したけど、あつという間だった」「もつとお話したかった」など、先生や友だちとの再会を喜びながらも、まだ万全なスタートではない状況に、学校再開を心待ちにしている様子がうかがえました。

感染症の対策を徹底

体育館や教室の窓は、常に開けて十分に換気し、移動した際には、手洗いや手指の消毒を行っていました。教室



①先生や友だちとの再会に笑顔（3年）②計算を解いてみよう（5年）③はじめてのバス登校（2年）④コロナだけでなく地震にも身を守る（6年）⑤先生と宿題の確認（4年）⑥おでこを出して検温（1年）⑦友だちと距離をとって並ぶ（4年）⑧クラスでの自己紹介（6年）⑨先生の質問にもきちんと返答（2年）

では、児童10人程度が交互に座るなど、間隔を空け密接しないように工夫していました。



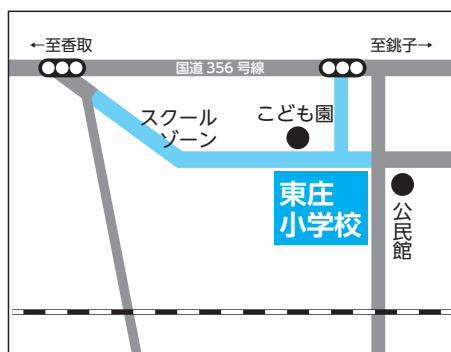
▲教室に入る前にも消毒

温かい見守りを スクールバスの運行

スクールバスは、小学校へ通学する児童の便利を図ることを目的として、9ルート、31停留所で運行しています。利用する児童は、全校児童の55%にあたる約310人です。バスには添乗員の方が必ず乗車し、児童の乗降確認や補助、安全確認などを行っています。また、手指の消毒や換気も行い、感染症の対策も行っていきます。

児童にはスクールバス利用の約束として、乗降時に道路に飛び出さず、車に注意するよう指導していますが、地域の皆さんの温かい見守りも必要です。また、スクールバスは安全第一で運行していますので、走行中のバスを見かけ

たは、児童10人程度が交互に座るなど、間隔を空け密接しないように工夫していました。



小学校前の道路は、午前7時から8時（土・日・休日を除く）は通行禁止です。送迎する方などご注意ください。

スクールゾーンは
通行禁止です



▲スクールバスでの登下校